

NPO 法人お産サポート JAPAN

2016 年度 講演会&シンポジウム

共催: 奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究中心

地域包括ケア時代における 継続的マタニティケア: 女性中心のケアの実現に向けて

地域包括ケアが叫ばれる日本の昨今ですが、エビデンスの高いとされる継続的マタニティケアについても、当事者を中心としたシステムや内容に再検討が必要です。

私たちは、海外での取り組みも踏まえ、日本における女性中心のマタニティケアが地方・地域においても担保されるよう、政策案を提言できる会を目指します。

日時：2016年12月17日(土) 13:00~17:00

場所：TKP 東京駅前カンファレンスセンター (裏面地図)

講演会 13:15~15:00
女性中心のマタニティケア
政策実現への活動
-英国消費者グループの経験から
AIMS experience of pressing for changes
in maternity policies for women centered
care.

講師：Ms. Beverley Beech
(AIMS*名誉代表)

通訳：ゴールドマン 浩美

*AIMS(the Association for Improve-ments in the Maternity Services)は、1960年代から活動してきたボランティア団体。貧しいマタニティケアをより良くするように電話相談や情報提供、産科医療や助産ジャーナルのモニター、健康政策や専門家からの情報への対応、海外の団体との交流等々を行っている。



シンポジウム&ワークショップ
15:15~17:00

- 地方におけるお産事情、日本とスコットランドの相違と課題 . . . 猪俣 理恵
- 女性の望むマタニティケア：日本と海外との比較 . . . 松岡 悦子
- 地域医療の経験から、今後の理想的なマタニティケアへのヒント . . . 前沢 政次

指定発言：女性の出産経験
ワークショップ
「みんなで考える
女性中心のマタニティケア政策」

※事前申込不要

※参加費：会員外 3,000円
会 員 1,000円







連絡先： NPO法人お産サポート JAPAN

〒185-0021 東京都国分寺市東元町 1-38-32 母と子のサロン ファミリー事業部内

info@osan-support-japan.net FAX：042-326-2414



講師プロフィール（自己紹介）

	<p>ゴールドマン 浩美： お産の家せたがや うみのもり院長、日本 助産師会、英国助産師 会会員、助産学士</p>	<p>オックスフォード・ブロークス大学助産学科卒業、ロンドン大学上級助産学修士 課程前期修了、25年間の英国生活中に助産師として病院と地域で働き、開業助 産師時代に家庭出産、水中出産の経験を積んだ。2012年帰国し助産師学校教 員を経て現在開業助産師として活動中。</p>
	<p>猪俣 理恵： 大分大学非常勤講師、 ボーンマス大学（イン グランド）所属</p>	<p>助産師、助産学修士。病院、クリニック、助産院、自宅での出産を援助する中で、 母体搬送の際の連携の難しさを経験し、医療システムの異なる英国の連携システ ムを学ぶため留学（アバディーン大学）。修士研究は「母体搬送の経験がその後の 助産業務に与える影響」について、助産施設（スコットランド）の助産師を対象に 質的調査を行った。現在は、日本の産科医療過疎地域における調査研究を行って いる。</p>
	<p>松岡 悦子： 奈良女子大学、文化人 類学、ジェンダー論</p>	<p>文化人類学の立場からアジアやヨーロッパの出産や助産師についてフィールド ワークを行ってきた。最近ではアジアの近代化と出産の変化との関連について調べ ている。著書に『世界の出産』（松岡悦子・小浜正子編）勉誠出版、『アジアの 出産と家族計画』（小浜正子、松岡悦子編）勉誠出版、『妊娠と出産の人類学』 世界思想社など。</p>
	<p>前沢 政次： ひまわりクリニック きょうごく（京極町国 民健康保険診療所） 所長</p>	<p>医学博士、教育学修士。1947年、茨城県土浦市に生まれる。 一般社団法人地域医療教育研究所代表理事、日本プライマリ・ケア連合学会名誉 理事長、日本心身医学会理事、日本ケアマネジメント学会理事、日本在宅医学会 監事、全国国保診療施設協議会理事。著書に『介護保険ハンドブック』『ホーム ケアリハビリテーション基本技能』ほか。</p>
	<p>加納 尚美： 茨城県立医療大学 教員</p>	<p>日本フォレンジック看護学会理事長、日本助産学会理事、NPO法人お産サポ ートJAPAN理事、NPO法人女性の安全と健康のための支援教育センター理 事・運営委員</p>
	<p>小竹 雪枝： 助産師・NPOお産サ ポートJAPAN代 表、山形県酒田市出張 開業</p>	<p>山形県の日本海沿い、湊町酒田生まれ。助産師歴：聖路加病院の後、兵庫で教員。 「お産」に会いたくて、湘南鎌倉病院、矢島助産院（国分寺）、井本助産院（藤 沢）に。お産が激減した地方の、「お産」復活のため、地元、酒田でくこた助産 所>開業。おうちで産む、家族で赤ちゃんを迎えたい女性のご希望を叶える、手 助け中。</p>

■会場のご案内 TKP東京駅前カンファレンスセンター（電話：03-4577-9266）

- ・JR 東京駅八重洲北口から徒歩1分
- ・東京メトロ銀座線 日本橋（東京都）駅 A3 出口 徒歩3分
- ・都営浅草線 日本橋（東京都）駅 A3 出口 徒歩3分
- ・東京メトロ丸ノ内線 大手町駅 B9 出口 徒歩3分
- ・東京メトロ千代田線 大手町駅 B9 出口 徒歩3分
- ・東京メトロ半蔵門線 大手町駅 B9 出口 徒歩3分
- ・都営三田線 大手町駅 B9 出口 徒歩3分

